

# HTG-35U ブルーバック表示の手順書

2014/12

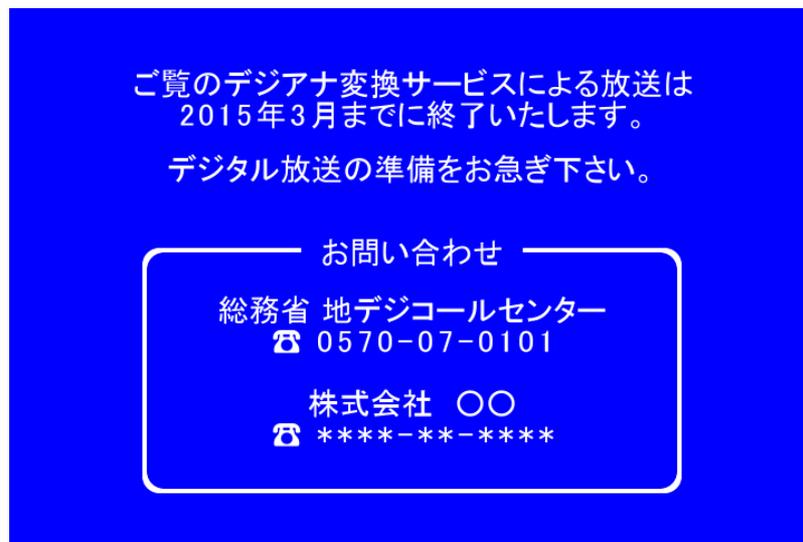
## 概要

本書はHTG-35Uにてブルーバックの画面を出力するための手順書です。

HTG-35Uのビットマップ出力機能、及び固定文字表示機能を使用してブルーバックの表示を設定します。

また、ブルーバックの表示/非表示をタイマーで自動に切り替えを行うようスケジュール機能を設定します。

<表示例>



※本手順書に従って作業を行うことにより映像にショック、文字及び画像の重畳が発生します。出力映像を本線にて使用している場合はご注意ください。

## 所要時間

約 40 分

## 用意するもの

- HTG-35U (HTG-35EX オプションが搭載されていること)
- PC (HTG-35U 付属の「HTG-35U リモートコントロールソフトウェア」がインストールされていること)
- LAN ケーブル (クロスケーブル)
- AC ケーブル (付属のもの)
- 背景用画像 (720x487pixel 24bit ビットマップ形式)
- モニタ (出力映像、メニュー画面確認用)

## 目次

概要.....	1
所要時間.....	1
用意するもの.....	1
1 HTG-35U を PC と接続する (所要時間 : 約 10 分).....	3
2 画像を登録する (所要時間 : 約 5 分).....	5
3 文字を登録する (所要時間 : 約 10 分).....	7
4 自動で表示を切替える (所要時間 : 約 15 分).....	11

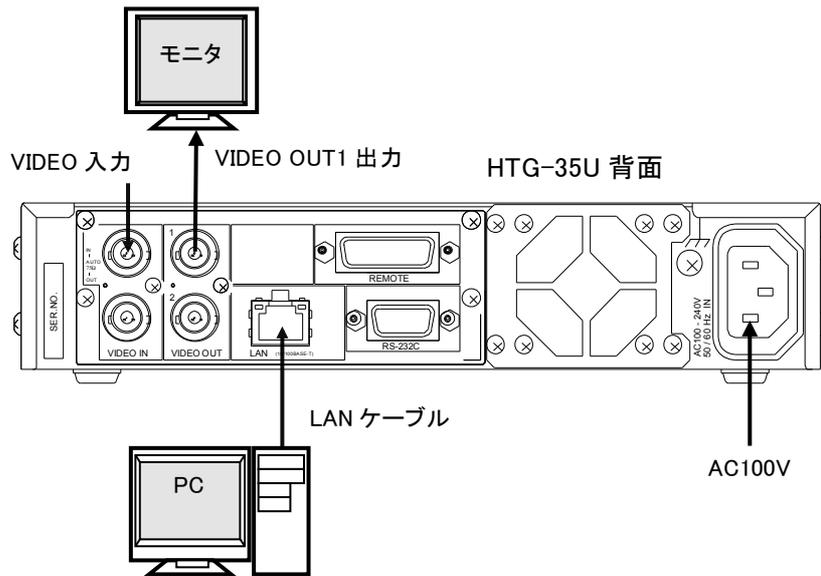
# 1 HTG-35U を PC と接続する（所要時間：約 10 分）

※ここでは HTG-35U と PC を接続し、HTG-35U リモートコントロールソフトウェアで操作可能な状態にします。  
すでに HTG-35U が PC から操作可能な場合、本項の作業は必要ありません。

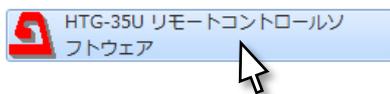
1.1 HTG-35U に付属の AC ケーブルを接続して電源を入れます。

PC と HTG-35U をクロス LAN ケーブルで直接接続します。

VIDEO OUT1 端子に出力映像確認用のモニタを接続します。



1.2 PC で「HTG-35U リモートコントロールソフトウェア」を起動します。



1.3 **接続** ボタンをクリックします。

※「HTG-35U リモートコントロールソフトウェア」が PC にインストールされていない場合は、HTG-35U に付属されている CD からインストールを行って下さい。



1.4 接続ダイアログが表示されるので、HTG-35U に設定されている「IP アドレス」「ポート番号」を入力して **OK** ボタンをクリックします。

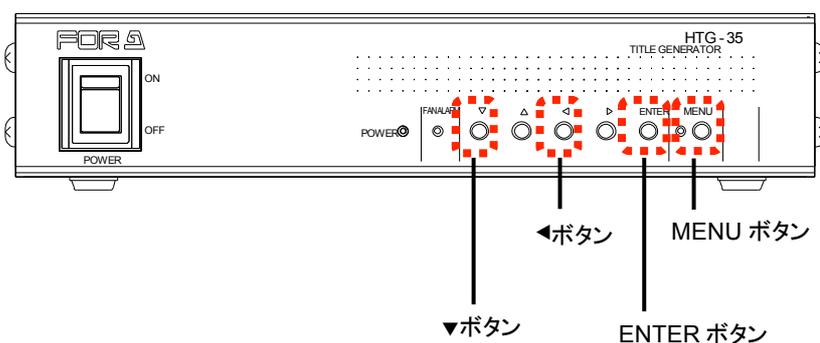
※HTG-35U をデフォルト設定のまま使用している場合は「IP アドレス:192.168.0.1」「ポート番号:1234」です。



※HTG-35U の IP アドレスとポート番号が不明な場合は HTG-35U のメニューから確認することができます。

- ① 本体前面の「MENU」ボタンを長押しし、モニタ上に表示される出力映像にメニュー画面を表示します。
- ② 「▼」ボタンを押してメニュー上で「LAN」を選択し、「ENTER」ボタンを押して「IP ADDRESS」画面で IP アドレスを確認します。
- ③ さらに「▼」ボタンを押して「IP ADDRESS」を選択し、「◀」ボタンを押して「IP PORT」画面でポート番号が確認します。
- ④ 確認後は「MENU」ボタンを押してメニュー画面を終了します。

※PC の IP アドレスも正しく設定されている必要があります。接続できない場合、ネットワークシステム管理者と相談して PC の IP アドレスを設定して下さい。



## 2 画像を登録する（所要時間：約5分）

※ここではHTG-35U にビットマップ画像を登録し、出力映像にブルーバックを上書き表示するよう設定します。本作業により、出力映像にショック及び画像の重畳が発生します。ご注意ください。

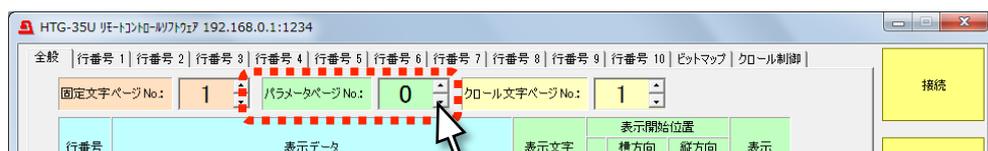
- 2.1 **表示制御**ボタンが黄色く表示されていること、「全般」タブを開いていることを確認します。そうでない場合は**表示制御**ボタン、「全般」タブをクリックします。



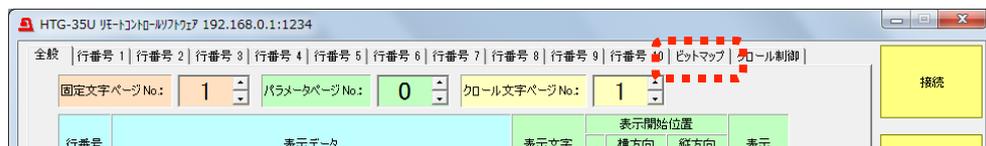
※HTG-35U でスケジュールが実行されている場合、設定の変更を行うことができません。本書「0」を参考に、スケジュール動作を解除してから設定を行って下さい。

- 2.2 「パラメータページ No.」で任意の番号(例として“0”とします)を選択します。

※この「パラメータページ No.」は、スケジュール機能を設定する際に必要となります。



- 2.3 「ビットマップ」タブをクリックします。



- 2.4 「登録モード」で「全画面」を選択します。確認メッセージが表示された場合は**OK**ボタンをクリックして下さい。

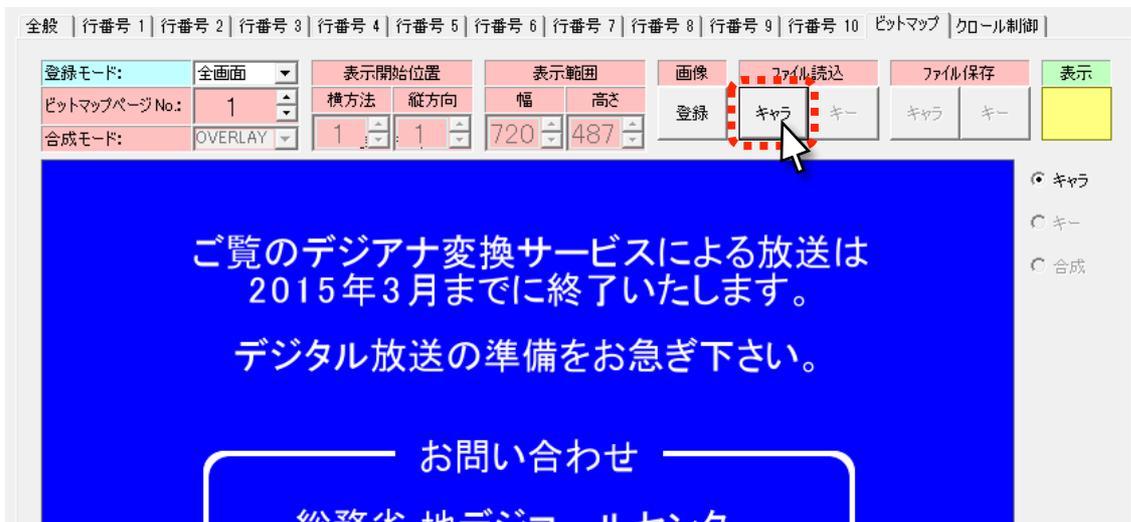


- 2.5 任意の「ビットマップページ No.」(例として“1”とします) を設定します。



※この「ビットマップページ No.」は、スケジュール機能を設定する際に必要となります。

- 2.6 「ファイル読込」の「キャラ」ボタンをクリックし、あらかじめ作成したブルーバック画像(720x487pixel 24bit ビットマップ形式)をダイアログに従って読み込みます。



※ここでは文字入りの画像を使用しています。無地のブルーバック画像を使用して文字を別途表示する場合は、次項「3.文字を登録する (所要時間： 約 10 分)」を参考に文字を追加で登録します。

- 2.7 「画像」の「登録」ボタンをクリックします。登録モード:「全画面」で 15~40 秒程度かかります。



- 2.8 表示/非表示の切り替えを行う場合、「表示」のボタンをクリックします。(ボタンが黄色の時に画像が表示されます)

※今回の作業でスケジュール設定を行う場合は、黄色のままにしてください。



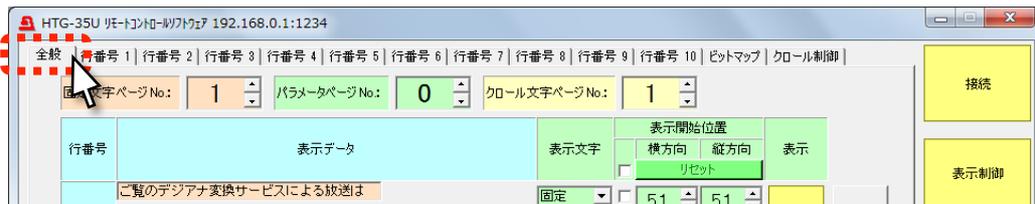
### 3 文字を登録する（所要時間：約10分）

※ここではHTG-35Uに固定文字とクロール文字を登録し、出力映像に文字を上書き表示するよう設定します。

無地のブルーバック画像を使用する場合は本項にて文字の登録を行って下さい。ブルーバック画像のみ使用して文字が必要ない場合、本項の作業は必要ありません。

本作業により、映像にショック及び文字の重畳が発生します。ご注意ください。

#### 3.1 「全般」タブをクリックします。

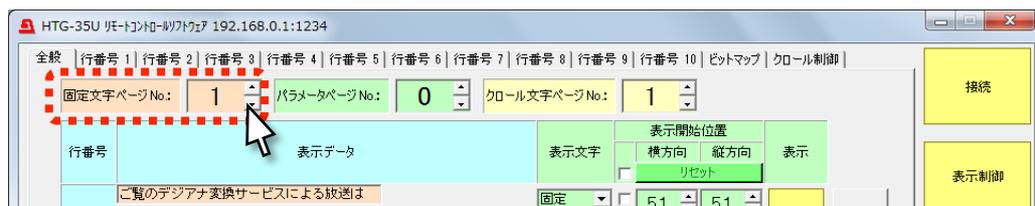


#### 3.2 「パラメータページ No.」にて前項「2.2」で設定した番号と同じ「パラメータページ No.」（「2.2」項で「0」としていません）が選択されていることを確認します。

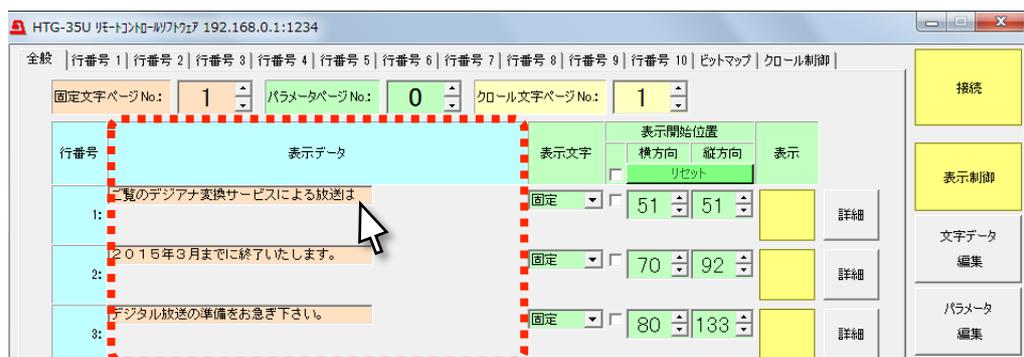


#### 3.3 まず固定文字を設定します。「固定文字ページ No.」で任意の番号(例として「1」とします)を選択します。

※ここで設定した「固定文字ページ No.」は、スケジュール機能を設定する際に必要となります。



#### 3.4 「表示データ」に文字を入力します。



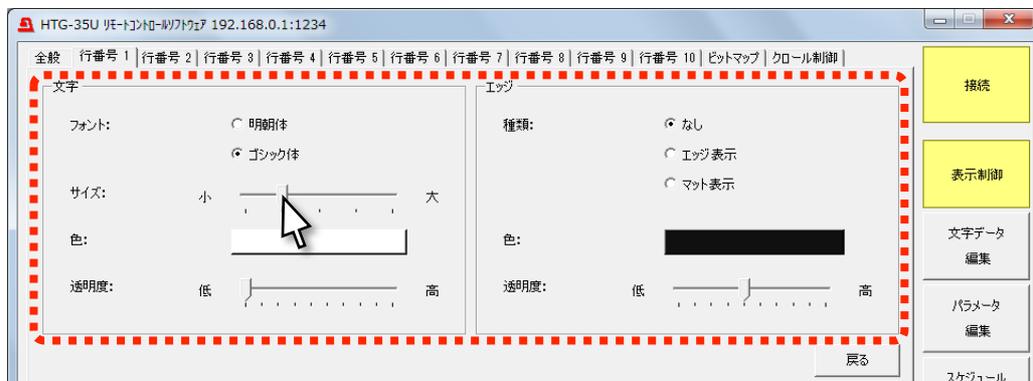
3.5 「表示開始位置」の「横方向」「縦方向」で表示位置を調整します。



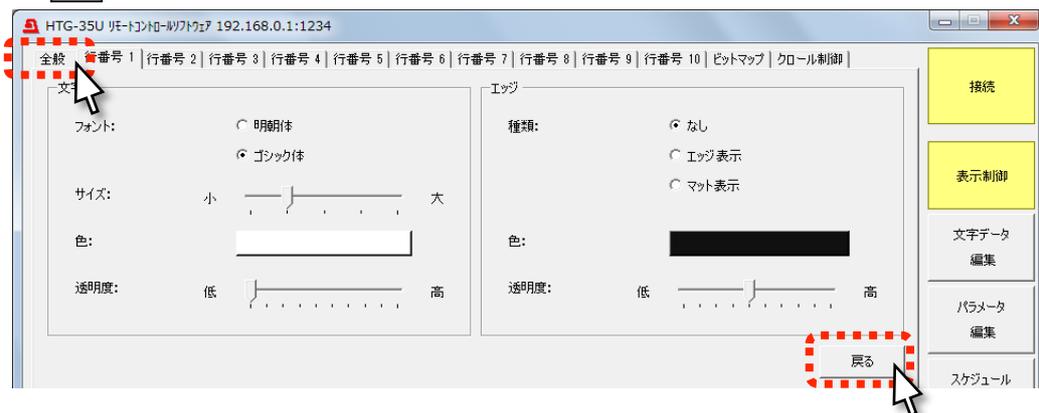
3.6 文字の「色」「サイズ」等を変更する場合、対応する行番号の「詳細」ボタン、もしくは「行番号」タブをクリックします。



3.7 必要に応じて文字の「色」「サイズ」等を設定します。



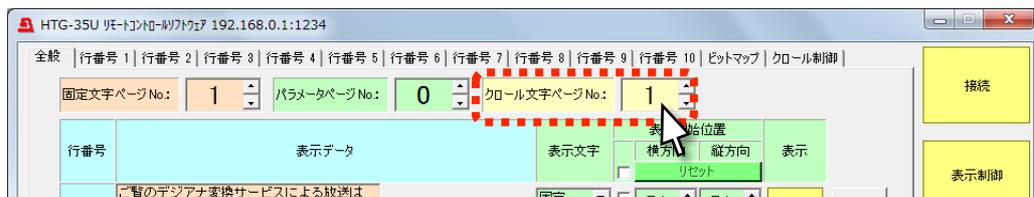
3.8 「戻る」ボタンもしくは「全般」タブをクリックして元のページに戻ります。



3.9 表示/非表示を切り替える場合、「表示」のボタンをクリックします。(ボタンが黄色の時に文字が表示されます)  
 ※今回の作業でスケジュール設定を行う場合は、黄色のままにしてください。



3.10 続いてクロール文字を設定します。「クロール文字ページ No.」で任意の番号(例として「1」とします)を選択します。  
 ※ここで設定した「クロール文字ページ No.」は、スケジュール機能を設定する際に必要となります。



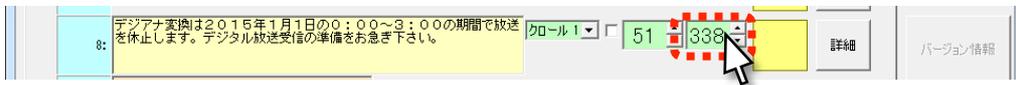
3.11 固定文字で使用しない行番号(ここでは8行目を選択しています)を選択し、「表示文字」にて「クロール1」を選択します。



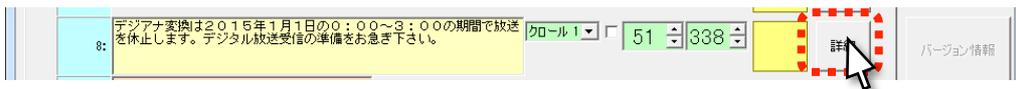
3.12 「表示データ」に文字を入力します。



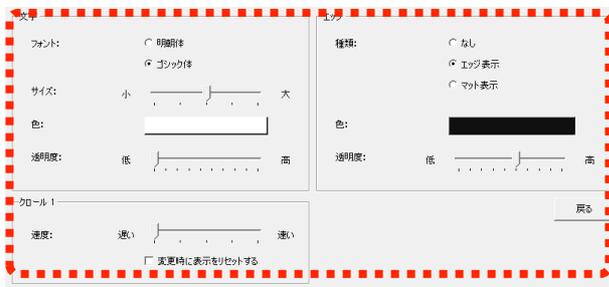
3.13 「表示開始位置」の「縦方向」で表示位置を調整します。



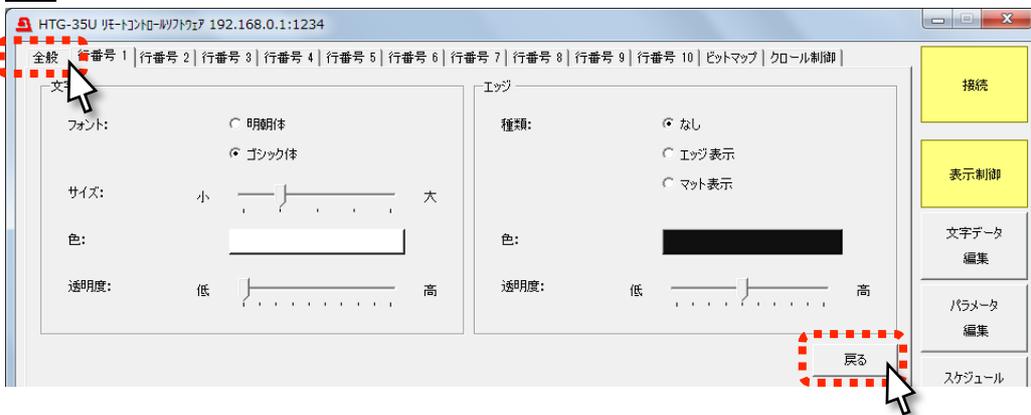
3.14 文字の「色」「サイズ」「速度」等を変更する場合、「詳細」ボタン、もしくは「行番号」タブをクリックします



3.15 必要に応じて文字の「色」「サイズ」「速度」等を変更します。

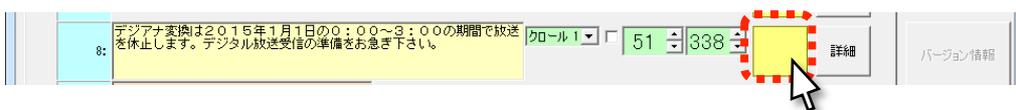


3.16 「戻る」ボタンもしくは「全般」タブをクリックして元のページに戻ります。



3.17 表示/非表示を切り替える場合、「表示」のボタンをクリックします。(ボタンが黄色の時に文字が表示されます)

※今回の作業でスケジュール設定を行う場合は、黄色のままにしてください。



## 4 自動で表示を切替える (所要時間: 約 15 分)

※ここでは HTG-35U にスケジュールを登録し、ブルーバック表示をタイマーで切り換えるように設定します。

本書では例として「普段は固定文字とクロール文字を表示しており、毎日 19 時からブルーバックを表示し、21 時から非表示にして普段通りに固定文字とクロール文字を表示する」という動作のスケジュールを作成します。



ブルーバック表示の自動での切り替えが必要ない場合、本項の作業は必要ありません。

### 4.1 「パラメータ 編集」ボタンをクリックします。

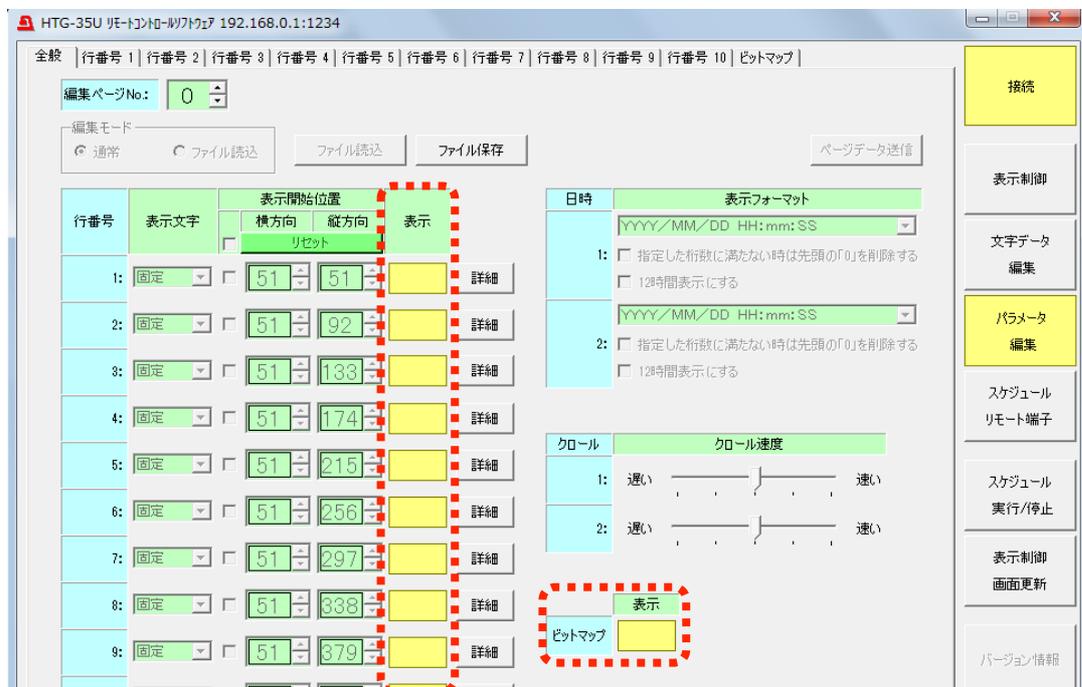


### 4.2 「2.2」にて選択した「パラメータページ No.」(「2.2」項で「0」としてあります)を「編集ページ No.」で選択します。



ここで選択している「編集ページ No.」はブルーバック表示を有効にするページ番号としてスケジュール機能を設定する際に必要となります。

- 4.3 「ビットマップ」項目の「表示」ボタンと、文字の行番号の「表示」ボタンが黄色くなっていることを確認します。  
 ※現在使用中の「編集ページ No.」を表示している場合は、「表示」ボタンを含む設定内容は変更できません。変更する場合は画面右側の「表示制御」ボタンをクリックし、「全般」タブ、「ビットマップ」タブを開いてから個別に設定して下さい。

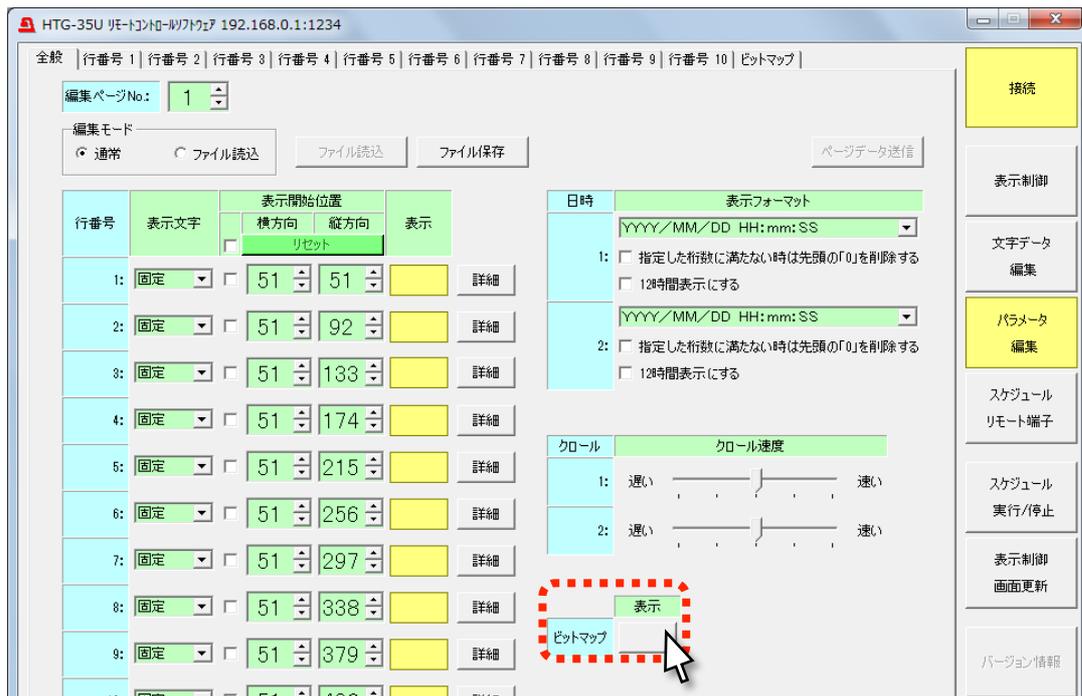


- 4.4 次に、ブルーバック表示を無効に設定する為の任意の「編集ページ No.」(例として「1」とします)を選択します。  
 有効時(「4.4.2」項で「0」としています)とは異なるページ番号を選択して下さい。



ここで選択している「編集ページ No.」はブルーバック表示を無効にするページ番号としてスケジュール機能を設定する際に必要となります。

4.5 「ビットマップ」項目の「表示」ボタンをクリックして切換え、グレーに設定します。



4.6 同時に文字も非表示にする場合、「行番号」1～10 全ての「表示」ボタンをクリックし、グレーに設定します。  
文字を使用しない場合、この作業は必要ありません。



ただし、クロール文字を使用中の場合はクロール文字の行のみボタンを黄色に設定します。



4.7 スケジュール リモート端子 ボタンをクリックします。



4.8 「スケジュール 1」～「スケジュール 4」のタブの何れか(例として「スケジュール 1」とします)をクリックします。



スケジュールを登録する際は以下の点に注意して下さい。

- クロール文字の表示/非表示は、クロール文字ページの切り替えにて実行します。予めクロール文字が設定しているクロール文字ページと設定していないクロール文字ページを用意し、そのページを切り替えてクロール文字の表示を切り替えます。
- クロール文字ページの切り替えとパラメータページの切り替えを一緒に実行しないように注意してください。
- ビットマップ画像の表示/非表示は、パラメータページのビットマップ画像の表示/非表示設定にて実行してください。ビットマップページの切り替えを使用したビットマップ画像の表示/非表示は実行しないでください。
- ビットマップ画像を表示する際にクロール文字を非表示にしたい場合、切り替え時にクロール文字が流れきっている必要があるため、予めクロール文字のページ切り替えを単独で行なった後、ビットマップ画像を非表示にするパラメータページの切り替えを実行します。

(例:5分前にクロール文字ページの切り替えを実行する)

- 4.9 クロール文字ページを切り替える任意の「ID」(例として“ID1”とします)を決め、「有効/無効」をクリックしてチェックを入れます。



- 4.10 クロール文字ページを切り替える「年」「月」「日」「時」「分」(例として“毎日 18:55”とします)を設定します。



- 4.11 ブルーバック無効時の「固定文字ページ No.」(ここでは“0”としています)を「固定文字」に設定します。



- 4.12 クロール文字が登録されていない「クロール文字ページ No.」(ここでは“255”としています)を「クロール」に設定します。



- 4.13 「ビットマップ」はブルーバック無効時も必ずブルーバック有効時と同じ「ビットマップページ No.」(「2.5」項で“1”としています)を設定して下さい。



- 4.14 ブルーバック表示を有効にする任意の「ID」(例として「ID2」とします)を決め、「有効/無効」をクリックしてチェックを入れます。



- 4.15 ブルーバック表示を開始させる「年」「月」「日」「時」「分」(例として「毎日 19:00」とします)を設定します。



- 4.16 ブルーバック表示を有効にするために「4.2」で設定した「編集ページ No.」(「4.2」項で「0」としてあります)を「パラメータ」に設定します。



- 4.17 「3.3」で設定したブルーバック有効時の「固定文字ページ No.」(「3.3」項で「1」としてあります)を「固定文字」に設定します。

※画像のみ使用する場合は設定の必要ありません。



- 4.18 「クロール」は文字を登録していない「クロール文字ページ No.」を設定して下さい。



- 4.19 「2.5」項で設定したブルーバック有効時の「ビットマップページ No.」(「2.5」項で“1”としています)を「ビットマップ」に設定します。



- 4.20 ブルーバック表示を無効にする「ID」(例として“ID3”とします)を決め、「有効/無効」をクリックしてチェックを入れます。



- 4.21 ブルーバック表示を終了させる「年」「月」「日」「時」「分」(例として“毎日 21:00”とします)を設定します。



- 4.22 「4.4」で設定したブルーバック無効時の「編集ページ No.」(「4.4」項で“1”としています)を「パラメータ」に設定します。



- 4.23 ブルーバック無効時の「固定文字ページ No.」を「固定文字」に設定します。



4.24 クロール文字ページは必ずクロール文字が登録されていない「クロール文字ページ No.」を設定して下さい。



4.25 「ビットマップ」はブルーバック無効時も必ずブルーバック有効時と同じ「ビットマップページ No.」(「2.54.4」項で「1」としています)を設定して下さい。



4.26 クロール文字ページを切り替える任意の「ID」(例として「ID4」とします)を決め、「有効/無効」をクリックしてチェックを入れます。



4.27 クロール文字ページを切り替える「年」「月」「日」「時」「分」(例として「毎日 21:01」とします)を設定します。



4.28 「4.4」で設定したブルーバック無効時の「編集ページ No.」を「パラメータ」に設定します。



4.29 ブルーバック無効時の「固定文字ページ No.」を「固定文字」に設定します。



4.30 クロール文字が登録されている「クロール文字ページ No.」(「3.10」項で「1」としてあります)を「クロール」に設定します。



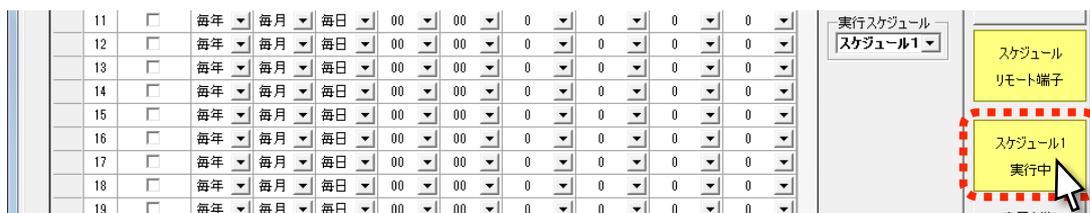
4.31 「ビットマップ」はブルーバック無効時も必ずブルーバック有効時と同じ「ビットマップページ No.」を設定して下さい。



4.32 「実行スケジュール」にて、開いているスケジュールのタブ(「4.8」項で「スケジュール 1」としてあります)が選択されていることを確認します。



4.33 **スケジュール 実行/停止** ボタンをクリックし、確認ダイアログが表示されるので **OK** ボタンをクリックします。



※内部で準備動作が必要なため、設定直後(2分程度)に**スケジュール 実行/停止** ボタンをクリックした場合はスケジュールが作動しない場合があります。

※スケジュールの実行中は設定を変更できません。**スケジュール\* 実行中** ボタンをクリックしてスケジュールを解除してから設定を行って下さい。

4.34 スケジュールが開始されます。

本指示書の例の通りに設定すると、以下のようにブルーバック表示の有効/無効が切り替わります。



設定完了後は LAN ケーブルを抜く、PC をシャットダウンする等で接続が失われても、その後の HTG-35U の動作に影響はありません。

以上